

自治振興会の紹介



いちば自治振興会



弁当配達の様子

いちば自治振興会は油木の中心地に位置し、永い歴史と伝統ある文化が継承されています。活動としては、まず月に住民アンケートを実施し、地域の実態や問題点を把握しました。その課題から今年度は、「安らぎと潤いのあるまちづくり」を目標に掲げて活動しています。特に、全世帯の1割以上が七十五歳以上の単身世帯が八十歳以上の夫婦世帯ということもあり、老人対策に取り組んでいます。その取り組みの一つが弁当配達です。まちづくり部員を中心として毎日（土、日を除く）夕方に配達しています。現在は十三世帯が利用しています。また、配達と併せて全老人世帯への安否確認を行い健康状態・困りことなどの聞き取りをしています。毎日のことで苦労も多いですが、相互扶助の精神で取り組んでいます。

また、七月十日（日）には、山村開発センターで交流広場（一日サロン）を開設し約四十名の方々が参加して、食事をとったり孤独解消方法について話し合いをしたり、カラオケをしたりと、楽しい時間を過ごすことができましたと大変好評でした。今後も多くくの住民の皆さんに参加していただけるよう、より豊かで明るい自治振興会になるようまちづくりを進めていきます。

いちば自治振興会は油木の中心地に位置し、永い歴史と伝統ある文化が継承されています。活動としては、まず月に住民アンケートを実施し、地域の実態や問題点を把握しました。その課題から今年度は、「安らぎと潤いのあるまちづくり」を目標に掲げて活動しています。



交流広場の様子

高光自治振興会

高光自治振興会は平成十四年に「高光会」として活動を始め、高光公民館を拠点としたコミュニティ活動がある程度確立されつつあります。

中でも、ホテル鑑賞会、ミニ歌謡ショー、ふれあい神石まつりでのそば屋の出店などは、二、三年前から始めた事業です。特に十月二十三日（日）に行った歌謡ショーは、地域のみなさんとショーを見ながら夕食を食べ楽しいひとときを過ごすことができました。今回で二回目の開催になりましたが、これから継続的な文化活動していく課題も見えてきました。

また高光地域では、農産物生産者が少なく地域の活性化を図る為、産直市場の視察研修を行いました。この冬には、野菜づくり研修会を予定しています。

これからは、地域のみなさんが全員参加できる場所や事業を考え、高光の新しい特徴を一緒に作りあげていきます。



ふれあい神石まつりでの出店



ミニ歌謡ショーの様子